

書道で優秀な成績を収める～おめでとうございます

先日行われた第34回読売学生書展で、次の築上町の小中学生3人が特選を受賞しました。3人を代表して河井さんは「賞を取ることはめったにないことで、難しいと言われていたので、たくさん練習を積み、特選になったので嬉しかったです。これからも頑張りたいです」と喜びを話しました。



河井彩菜さん（椎田中2年） 井上華利那さん（椎田小6年） 横田萌香さん（椎田小5年）

町民大学閉講式

3月7日、中央公民館で町民大学閉講式が行われました。今年は210人が受講し、一年間様々な分野で知識や経験を深め、閉講式を迎えました。来賓の方は「自分の知性や技術を高められたことと思う。それを生かして行ってほしい」と挨拶。受講生の身につけた知識や経験は必ずや人生の糧となることでしょう。



知恵の文殊祭

2月25、26日、下日奈古文化公園で智慧の文殊祭、伝法寺不老山正光寺で智慧の文殊大祭が開催されました。当日は、快晴の中、たくさんの方が会場を訪れました。下日奈古では、保育園児が参拝に訪れ、餅つきにも挑戦。正光寺では、毎年恒例の武者行列が行われ、沿道には家族連れなどの姿も見受けられました。

しだ梅まつり

2月10日～3月10日、綱敷天満宮でしだ梅まつりが開催されました。期間中、天神市など、さまざまな催しが行われ、多くの方が会場を訪れました。また、境内には受験シーズン真っ只中ということもあり、「志望校に合格できますように」といった合格祈願の絵馬がたくさん奉納され、それぞれの春を待ち望んでいるようでした。



築上町民劇公演～築城からの発進

2月23日、24日、コマーレで築上町民劇「築城からの発進～昭和20年3月特攻銀河隊物語」が上演されました。7作目となる今回は、戦時中、旧築城海軍航空隊から出撃した特攻隊員を題材にしたもので、脚本の平岡さんによると、愛する人の幸福を願い、出撃していった隊員たちの純粋な思いを表現したかったということです。当日の会場はほぼ満員。出演者の熱演に来場者の中には思わず涙する姿も見られ、出演者、スタッフの思いが伝わったようでした。



子どもフェスティバル春まつり

3月3日、児童館で子どもフェスティバル春祭りが行われました。当日は、子ども達のダンスやショーなど様々な催しが行われました。子どもたちにとって、貴重な思い出となったことでしょう。



伝統の雛かざり

3月3日のひなまつりにちなみ、椎田の有田信子さん宅では、約80年前から伝わる御殿びなが飾られました。この雛人形は、有田さんの亡くなられたお姉さんの桃の節句に合わせて詠えたものだそうです。雛飾りや人形の表情などからは現代の雛人形とは異なる趣と伝統を感じさせてくれます。



卒業レシピの贈呈

3月の卒業を前に、町内の小中学校の児童・生徒に学校給食調理員から「卒業記念レシピ集」が贈られました。これは、学校給食調理員が日頃提供している給食の献立から数品を選び、その材料と作り方、そして卒業生へのメッセージを載せたものです。給食調理員の皆さんはレシピに込めた思いについて「児童・生徒が学校給食を通して、日常または将来の食事作りに関心を持ち続け、それが食育のひとつにつながっていけば」と話しました。※このレシピは本庁受付窓口を設置していますので、ご自由にご覧ください。

バレーボールで健闘！

2月23日に行われた周防杯中学女子バレーボールで町内の中学校が出場し、健闘を見せました。結果は次のとおりです。

- 2位グループ 優勝 椎田中学校
- 3位グループ 優勝 築城中学校



中学校卒業式

3月14日、町内の中学校で、保護者や関係者が見守る中、卒業式が行われました。椎田中学校では、学校長から「それぞれの道を自分の手で切り開いてほしい」と激励の言葉が贈られました。卒業生は3年間の思い出の残る学び舎に別れをつけました。